

2020 春のセミナーのご案内書

「知能を育てる教育」と「勉強」との違い

「知能を育てる教育」と「勉強」はどこが違うのでしょうか。どちらも子供の将来に関わる大切なことです。ただ、達成する目標が違うのです。目標が違えば、おのずと手段は変わります。例えば、足し算が分からなければかけ算ができず、かけ算ができなければ割り算はできません。ですから、それぞれのステップで、まだ出来ていないところを出来るようにしておく必要があります。分からないままにして先に進めないのが「勉強」です。「知能を育てる教育」はどうでしょうか。この教育は、やり方を知らなくても出来なくても大丈夫なのです。むしろ知らない方がいいのです。自分で考える訓練をするのですから、やったことがない、解き方を知らない問題に出会う機会こそ、知能を育てるチャンスなのです。テストの点数や偏差値は上がったたり下がったりしますが、一度身に付いた「知能」は下がることはありません。やった事がないことでも自分なりに習得できる力を身につける事ができるなら、これほど心強い事はないでしょう。

実施要項

日 程／3月23日から4月4日

開催時間／午前 10時30分から11時50分（80分）

午後 12時30分から13時50分（80分）

（年少児は午後の50分）少人数制で実施

対象年齢／年少児から中学生まで（レゴは年中から）

費 用／4,400円（内税） 在籍児 4,000円（内税）

日によっては午後2時以降のクラスがある場合があります。

午前午後を通して受講する場合、お弁当等持たせてください。

ギルフォード

セミナーコース案内

学習能力コース

国語領域と算数領域の課題

「学習能力」とは、学習に必要となる能力のことで、論理的思考力や推察力、分析力、読解力、表現力、コミュニケーション力などがこれにあたります。これらの能力が高いと集中して効率よく勉強に取り組みます。ですから、このコースは、学習に関する知識を吸収したり問題を解く場合に働く「知能」に注目してカリキュラムが組まれました。一つ心配なこととして「学習能力」が高い子＝勉強大好きガリ勉と思われることです。しかし、そうではありません。「学習能力」が高くなる子は、幼い頃から読書や工作などの「知的作業」が身近なものだったのです。その内容を勉強に移しても、抵抗なく取り組めた結果なのです。「学習能力」とは、後天的な素質のようなものですから、幼少期から楽しんで問題に取り組める「きっかけ」を上手に作る事が大切です。いきなり難しい事をやりすぎて、自信を失くしてしまっは気の毒すぎます。興味をもたせ、最大限に思考力を発揮させる「学習能力」コースは、年少児から小学生まで、それぞれの学齢に対応して課題が編成されています。

プレイフルプロジェクト

創造性を刺激する

みんなが知っているレゴブロックやレゴのロボットキットを使ってエンジニアリングの基礎を学びます。

作品などは持ち帰りませんが、終了後に写真をとっていただくことは可能です。

今期のプレイフルプロジェクトの課題は以下の通りです。

.....

年中児/動物の飼育園（お話を作って遊びましょう）

年長児/キャタピラのある動く乗り物（1）製作（2）性能評価

小学1年生/ロケット発射台

小学2年生/生き物の動きを真似たロボットを作ろう（魚類）

小学3年生/生き物の動きを真似たロボットを作ろう（4本足のけもの）

高学年以上は経験値に対応した課題を実施します。